

一泉

発行所
〒921 金沢市泉野出町
3丁目10-10
金沢泉丘高等学校内
一泉同窓会
電話(0762)42-0211
定価 1部 150円堂
橋本清文

昭和六十三年年度

一泉同窓会総会開かれる

旧金沢一中校舎移転の記録映画を初公開



毎年十月十五日は絶対といつてよい程雨が降らないとか。今年も前日まで心配された天候も、当日は風こそ強かったがまずまずの天候。午後三時半より泉丘高校前庭の厳霜碑前に同窓会役員、泉丘高校々長始め同窓会々員、学校教職員の参加を得て石浦神社長谷宮司の司祭により、おごそかに慰霊祭の行事を行った。

夜は午後五時半より金沢市清川町のセンチューラプラザで昭和六十三年度総会並びに懇親会を開催した。

泉丘七回、八回、九回卒業期が総会幹事期となり会の運営進行に当たった。定刻前より会員がぞくぞくと集まり、三百三十余名の参加を得て総会を開会。先ず物故会員の冥福を祈



り黙禱を捧げた後、藤田副会長の挨拶、宮崎泉丘高校々長の学校の現況報告を兼ねた挨拶、事務局から事業、会計決算報告があり会員全員の承認を得て総会を終えた。引き続き会場を「兼六の間」に移し懇親会に入った。会場では英安吉初代同窓会々長が金沢一中が旧本多町より現在の泉野出町に校舎を移転した当時の模様を記録されたフィルムを子息の英勝雄氏（一中四十一回卒）から同窓会に寄贈されたので、同窓会事務局ではビデオテープにダビングして保管していたもので、今回ナレーションBGMを付けて再編集したフィルムを、会場に設けた大スクリーンに写し会員全員に観賞して貰った。当時の四



・五年生徒らが校長銅像や巨大な厳霜碑を荷車に乗せ、広坂通り香林坊、片町を経て犀川大橋を渡るさまは圧巻であった。
全員が鑑賞したあと、松村晴夫副会長の懇親会開会挨拶のあと、乾盃をして宴会に入った。
会場は昨年以上の会員であふれ、お互いテーブルを渡り歩いて旧友と語り合い、先輩後輩と挨拶を交わし合った。会も水谷昭（泉丘七回）司会者の進行でスピーチ、応援歌、校歌の合唱など次々とマイクが廻り、いつまでも名残りがつきず、時の過ぎるのも忘れ九時すぎ一泉同窓会発展を祝い万才三唱をして散会した。

